

平成29年度の第四錦林小学校の教育

<学校教育目標>

グローバル化時代によりよく生きるために、自ら考え行動する子を育てる

～一人ひとりに確かな学力をつける～

「グローバル化時代に」 …子どもたちが成人する頃、グローバル化が進み、他国の人々と共に仕事や生活をするが多くなると言われていることを踏まえ

「よりよく生きるために」 … 学ぶ目的を明らかにして（人として豊かに生きるために）

「自ら考え」 … 自主的に・主体的に（他人任せではなく自分の考え・自分の意志で）

「行動する」 … 求めたいのは行動力（念じるだけでなく・願うだけでなく）

<めざす子ども像>

自ら学ぶ子

やさしい子

元気な子

<めざす教職員像>

～自ら考え行動する子どもを育てる 自ら考え行動する教職員～

- ・子どもの手本となる。
- ・創造力と想像力をもち、主体的に学ぶ姿勢をもつ
- ・温度差なく「共通実践」
- ・子どもに向けるあたたかい眼差しをもち、誰一人見捨てない覚悟
- ・ライフワークバランスを考える

<めざす学校像>

子どもを育てる具体的な取組がある学校

取組のないところに成果はない

取組の3本柱（4委員会）

- ・研究委員会（自ら学ぶ子を育てる）
- ・人権・生徒指導委員会（やさしい子を育てる）
- ・健康安全委員会（元気な子を育てる）

<学校・PTAの統一スローガン>

『すべては四錦の子どものために』

＜今年度の重点＞

＊人に流されずに、自分に自信をもって、自ら行動する子の育成

すすんで聞き，すすんで話す子

約束・ルールを守る子

あいさつする子

＊一人一人に確かな学力をつける

＊外国語活動・英語活動の授業に自信をもつ

＜取組について＞

目指す子ども像と取組との関連を明らかにする。

研究委員会（自ら勉強する子）

人権委員会・生徒指導委員会（やさしい子）

健康安全委員会（元気な子）